



鈴木ひろ子県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

速やかな災害時支援へ

庁内保管物資の 情報一元化を実現

12月県議会一般質問

安心・安全なふるさとづくりに力を注いでいる鈴木ひろ子県議(船橋市選出、1期)は12月定例県議会で登壇し、災害時の支援物資情報一元化や船橋競馬場駅前の歩道橋移設などについて、熊谷知事ら県執行部に聞きました。乗降客の利便性向上のために、船橋競馬場駅前の歩道橋の移設が計画されていますが、移設場所の地下に大量のケーブルが埋設されていたため、完成時期が大幅に遅れることが明らかになりました。鈴木県議の質疑と県執行部の答弁を紹介しします。



登壇し、県の施策を質問する鈴木ひろ子県議

鈴木議員 千葉県では、例えば防護服やビニールシート等、防災危機管理課以外の課や事業所で所有している備蓄物資も存在している。これらは、支援災害用の「災害備蓄」ではないために防災危機管理課では把握していないということであった。しかしながら、一刻を争う緊急時や、新型コロナウイルス感染症のまん延の初期段階のように、購入したくとも購入できない非常時には、県で所有する物資に災害用か否かの判別は不要。

各部署が所有する物資を、緊急時として使用できるような情報管理をすることは、災害時にも有効ではないか。そこで、かがが、災害時の物資支援に当たっては、庁内の

の物資の保管に係る情報を一元化し、防災用以外の物資も有効活用すべきと考えらるかどうか。
知事 県では、災害時の支援用として、食料、飲料水、生活必需品、ブルーシートなどを備蓄しており、また各部署においても、医薬品や防護服など、それぞれの業務に必要な物資や資機材

を備蓄しています。大規模な災害の際には、庁内で保有する備蓄品を機動的に融通し、速やかな支援に繋げていくため、備蓄品の情報を二元的に共有しておくことが有効であると考えています。
災害時に利用可能な備蓄品について、すでに把握しているものに加え、今後、備蓄

数量等の情報共有を一層進め、保有する備蓄物資の効果的な活用を図ってまいります。
鈴木議員 もともとと備蓄物資の在庫があったが、どの部署に何があったか情報共有ができません。災害時に使用できなかったということがないように、物資情報の一元化を要望したい。

中核市開設の児童相談所

円滑な業務移管へ人材育成

鈴木議員 船橋市などの中核市に対する児童相談所業務の移管について、限られた時間の中で円滑に行うため、県ではどのような対応を行うのか。
健康福祉部長 県では、中核市が新たに設置する児童相談所の開設に向けて、市と意見交換を行いながら、研修生の受け入れや、県で研修の対象者に市職員を加えるなどの人材育成支援を行っていることです。

船橋市と柏市は、相談受付件数がそれぞれ全県の1割程度を占めており、両市に移管する業務は、在宅指導や里親委託など多岐にわたります。大規模な災害の際には、庁内で保有する備蓄品を機動的に融通し、速やかな支援に繋げていくため、備蓄品の情報を二元的に共有しておくことが有効であると考えています。災害時に利用可能な備蓄品について、すでに把握しているものに加え、今後、備蓄

市が新たに設置する児童相談所の開設に向けて、市と意見交換を行いながら、研修生の受け入れや、県で研修の対象者に市職員を加えるなどの人材育成支援を行っていることです。

今後、必要な機能の検討を行い、児童相談所の業務執行体制の効率化と二層の強化に努めてまいります。

積極的なICT活用を

鈴木議員 児童相談所の業務をより適正に行うため、データの管理にICTを積極的に活用すべきと考えらるかどうか。
健康福祉部長 令和4年2月から運用を開始した業務支援システムでは、児童や保護者の情報や面談の記録等の電子データを職員が共有することで、複数の視点によるアセスメントや円滑な引継ぎが可能となるほか、会議資料や家族関係図の作成など新たに加えた機能による業務効率化を図っています。

とが大変重要であることから、県としては、引き続き両市と丁寧な協議を重ねながら、対応してまいります。

鈴木ひろ子プロフィール

経歴

- 1974年 船橋市前原に生まれる船橋市立中野木小学校、同前原中学校、国学院高校、明治大学文学部卒
- 福島中央テレビに入社し、アナウンサーとして活躍
- プロレスラーKENSOUと結婚
- 日本人初のアメリカプロレス団体WWEタレントに
- 2015年 船橋市議会議員初当選
- 2019年 千葉県議会議員初当選

現職

- 県議会 文教常任委員会副委員長

県政や船橋市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

鈴木ひろ子事務所

〒274-0825 船橋市前原西6-6-13
TEL 047-411-6944
FAX 047-411-6944

船橋競馬場駅前への歩道橋移設

完成、令和5年度以降に

道路地下に大量のケーブル

県執行部の答弁に対し、再質問をする鈴木県議



鈴木議員 15年以上に渡り、地元からは多くの喜びで住民の悲願であったエリベーター付き船橋競馬場駅前歩道橋の移設工事がようやく予算措置されると決ま

り、地元からは多くの喜びの声が上がった。しかしながら、供用開始予定の令和5年に残り一年となった現在も、現場に全

く動きが見られず、事業自体が止まっているのではないかと、地元住民からは不安の声が上がっている。

そこでかかろうが、国道14号船橋市宮本地先における歩道橋移設について、未だに工事着手していないが、理由は何か。

県土整備部長 歩道橋移設先の道路の地下にある大量のケーブルについて、試掘調査後に管理者と協議を行った結果、横断歩道橋の施工の支障とならないよう、想定よりもよりケーブルを迂回させる必要がある、1本ずつ切断して、再接続するという新たな作業が発生することが判明いたしました。

このため、ケーブルを迂回させるための設計期間が1年以上、工事期間が2年程度延長することとなり、歩道橋の完成は、目標としていた令和5年度よりも遅れる見通しとなりました。

引き続き、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら事業を推進してまいります。

鈴木議員 歩道橋を早期に完成させるため、県は今後、どのように取り組んでいくのか。県土整備部長 今後、関係機関と調整しながら、歩道橋工事の施工計画を精査し、工期の短縮について検討してまいります。

鈴木議員 一日も早く完成するよう、より一層の努力をさせていただくとともに、地元説明の場を設け意見を吸い上げるなど、丁寧な住民への説明を継続的に行うことを要望する。

鈴木議員 県立学校における働き方改革について、県教育委員会では、同社の助言を得ながら教職員の負担軽減に資するクラウドサービスの効果的な活用方法について研修会等で普及を図ってまいりました。

犬猫の多頭飼育崩壊危惧 移動去勢手術車の導入を

鈴木議員 多頭飼育崩壊の現状をどう把握しているか。保健医療担当部長 多頭飼育は、諸事情により飼育状態が悪化してしまうと、その解決が困難になることが多く、飼育状況の改善の

ため、指導が必要になる場合に備えて、できるだけ早期に状況を把握しておく必要がございます。

このため、「千葉県動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、1頭施設で犬猫を合計10頭以上飼育して

る飼育主に対して届出を義務付けており、令和3年度末現在の届出件数は298件となっております。

さらに今年度からは、問題のある多頭飼育に対し早期に改善に向けた対策を講じることが目的として、各保

健所に対し、多頭飼育に関する苦情や指導状況について報告するよう求めているところだ。

鈴木議員 動物の愛護及び管理に関する条例では10頭以上飼育する場合には知事に届出をする必要があるわけだが、多頭飼育崩壊を起こしている飼育主はきちんと届出しているケースは少ないと推察

する。この問題には早期発見が重要だが、未然防止に有効なのが移動去勢手術車の導入。過剰多頭飼育者においては、高齢者さらに生活保護受給者の割合が高く、例えば船橋市においても、直近10年の過剰多頭飼育者における生活保護受給者の割合は約4割に上る。県内には遠出の難しい高

齢者や病院の少ないエリアにも対応するため、移動去勢手術車を導入するNPO団体もあるが、ここで問題になるのが実際に手術をしてくださる獣医師の協力だ。こうした部分では県の協力が大きな力になる。ぜひ民間と連携し、早期の繁殖制限措置の実施が図られるよう対応を要望したいと思います。

鈴木議員 県では、幼児教育を担う人材の確保を支援するため、幼稚園教諭の給与改善を行う私立幼稚園に対し、国の制度を活用した補助に加えて、県単独の補助を実施しています。

また、地域のニーズを踏まえて預かり保育を実施する私立幼稚園を支援するため、人件費への補助を行うとともに、長期休業日における預かり保育に対して県単独の加算を行うことにより、預かり保育の充実に取り組みたいです。

鈴木議員 ぜひ、県としても更なる私立幼稚園への支援の拡充を要望する。

総務部長 県では、幼児教育を担う人材の確保を支援するため、幼稚園教諭の給与改善を行う私立幼稚園に対し、国の制度を活用した補助に加えて、県単独の補助を実施しています。

教育現場でのICT活用

自動採点システム導入へ

私立幼稚園への支援拡充を要望

要望

要望